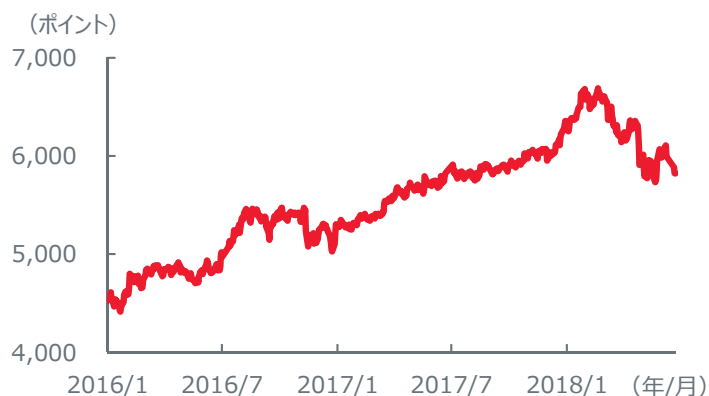


(対象期間：2018/6/18～6/22)

**【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移
(2016年1月4日～2018年6月22日)**

【株式市場】

ラマダン明け休暇のため11日から休場となっていたインドネシア株式市場は20日から取引が再開されました。休場の間に米中貿易摩擦に対する懸念などを受けてアジア株式市場が下落していたことを背景に、インドネシア株式市場も軟調となりました。セクター別では鉱業が上昇した一方で、建設・不動産、消費財、農業などは下落しました。

2018/6/8*	2018/6/22	変化率
5,993.63	5,821.81	-2.87%

*株式市場は20日水曜日、為替・債券市場は21日木曜日から取引再開となりました。

**【債券市場】 インドネシア国債10年国債利回りの推移
(2016年1月1日～2018年6月22日)**

【債券市場】

インドネシア債券市場は21日から取引が再開されました。休場の間に米中貿易摩擦に対する懸念などを受けて、対米ドルで新興国通貨が弱含んでいたことなどから、取引再開後に債券利回りは上昇（価格は下落）しました。その後はインドネシア中央銀行（BI）による介入があり、比較的狭い値幅での推移となりました。

2018/6/8*	2018/6/22	変化幅
7.299	7.544	+0.245

*株式市場は20日水曜日、為替・債券市場は21日木曜日から取引再開となりました。

**【為替市場】 インドネシアルピアの対円レートの推移
(2016年1月1日～2018年6月22日)**

【為替市場】

休場の間に米中貿易摩擦に対する懸念が強まったことや、外国人投資家を中心とした利益確定売りを背景に20日の株式市場が大きく下落したことなどから、取引再開後にルピアは下落しました。その後はBIによる介入を受けて、週末まで狭い値幅での推移となりました。

2018/6/8*	2018/6/22	変化率
0.782	0.782	-0.06%

*株式市場は20日水曜日、為替・債券市場は21日木曜日から取引再開となりました。

100インドネシアルピアの対円レート

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

※当資料はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社が情報提供を目的として作成したものであり、特定の金融商品等の勧誘・販売を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料でもありません。※当資料は信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしも正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料には、現在の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、事前の通知なくこれらを変更したり修正したりすることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来を保証するものではありません。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国プルデンシャル社はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているプルデンシャル・ファイナンシャル社とは関係がありません。

英国プルデンシャル・グループ

180625 (02)